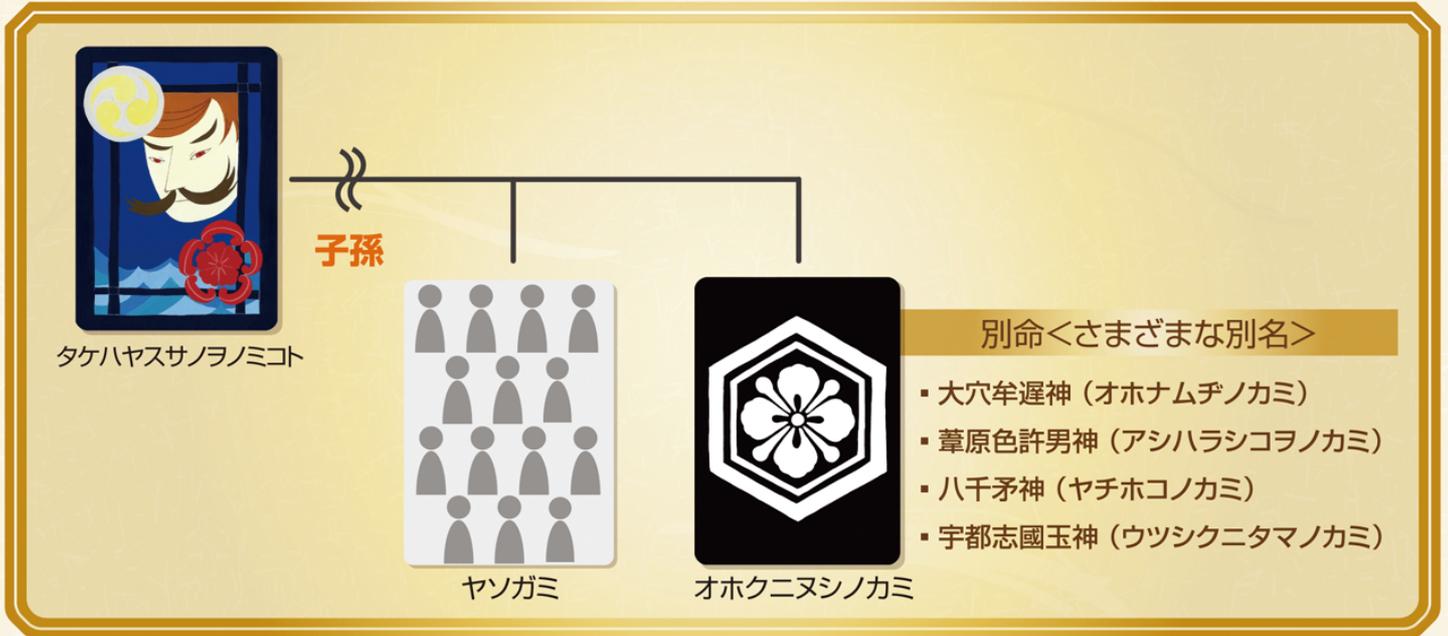


# ～オホクニヌシと稲羽の素兎～

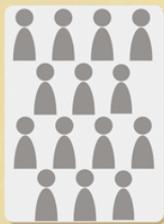
いなば しろうさぎ



オホクニヌシノカミには兄弟が八十神(大勢の神々)いらっしゃいました。八十神(ヤソガミ)は八上比賣(ヤガミヒメ)と結婚しようとオホクニヌシノカミを従者として率いて、稲羽いなばへ向かいます。

※稲羽=因幡。現在の鳥取県

## 傷だらけのウサギと遭遇…



ヤソガミ

『海の水で洗い、風が吹くのに当たり、  
任せていなさい』



傷口が痛み  
苦しむ!



オホクニヌシノカミ

『水で身を洗って、  
蒲がまの穂を採ってきて周囲に敷き散らし、  
その上に寝転んで花粉まを纏えば傷は癒える』



見事に回復し  
元どおりに!



ここで、ウサギのオラクル(神託)がくだります。

「ヤソガミは、ヤガミヒメと結婚できないでしょう。従者である兄弟オホクニヌシノカミが結婚するでしょう。」